

エコアクション21 環境活動レポート

2018年度
運用期間
(2018年4月～2019年3月)



2019年7月1日
第10版

中央冷熱 株式会社

目 次

1. 組織の概要	3
2. 組織図及び実施体制	4
3. 環境方針	5
4. 環境目標	6
5. 環境活動計画	7
(1) 二酸化炭素排出量の削減（省エネルギー）	
(2) 廃棄物排出量の削減（リサイクル推進）	
(3) 水使用量の削減（節水）	
(4) フロンガス回収量の向上	
(5) グリーン購入品の推奨	
(6) 省エネ商品の推進	
6. 活動状況	8
7. 施工写真	9
8. 環境目標の実績	10
9. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	12
10. 環境関連法規等の取りまとめ表	13
11. 代表者による評価と見直し	14

《 1. 組織の概要》

【事業所名及び代表者名】

事業所名 : 中央冷熱株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 橋本 義弘

【所在地】

〒422-8006
本社事務所 : 静岡県静岡市駿河区曲金五丁目17-5 シズデンビル
〒422-8006
倉庫・資材置場 : 静岡県静岡市駿河区曲金五丁目7-3

【環境管理責任者及び連絡先】

環境管理責任者 : 取締役技術部長 増田 寿良
エコアクション21推進室(事務局) : 山本 佳伸 ・ 戸塚 和信

TEL 054-284-7373 FAX 054-284-0070
URL <http://www.chuoureinetu.co.jp>
E-mail shizuoka@chuoureinetu.co.jp

【組織の沿革】

創 立 : 昭和58年 11月 1日
資 本 金 : 20,000,000円
エコアクション21取得日 : 平成22年 8月 24日

【事業内容】

建設業許可番号 : 静岡県知事許可(特-27)第20509号
有効期間 : 2015年10月13日 ~ 2020年10月12日
建設業の種類 : 管工事業・電気工事業
第一種フロン類回収事業者登録番号 : 静岡 100091

事業の内容 : 空調設備工事
給排水・衛生設備工事
電気設備工事
各設備の設計・施工
各設備の保守管理・修理

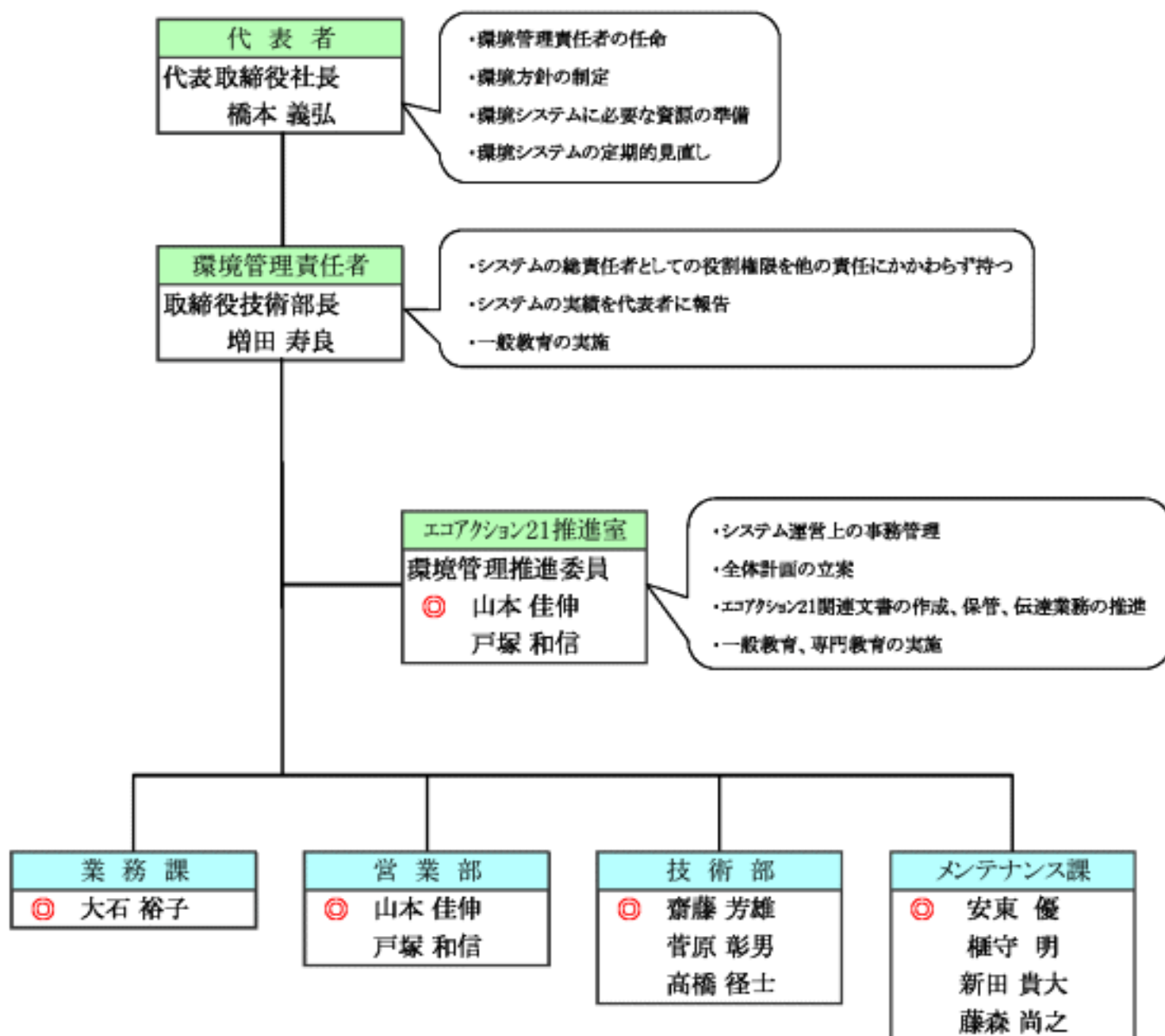
【事業の規模】

決算期間(期首 4月1日 ~ 期末 3月31日)

	2018年度 (H30.4~H31.3)	2017年度 (H29.4~H30.3)	2016年度 (H28.4~H29.3)
売上高(百万円)	599	552	396
従業員数	12名	13名	12名
事務所床面積	206.5㎡	206.5㎡	206.5㎡
倉庫床面積	250.0㎡	250.0㎡	250.0㎡
車両台数	11台	12台	11台

《組織図及び実施体制》

2019年4月1日 現在
従業員数 12名



業務課	◆水使用量の削減担当 ◆エアコン設定温度管理担当 ◆電気使用量の削減担当 ◆リサイクル推進担当
営業部	◆省エネルギー機器の導入設計を推進する ◆既存設備の省エネルギー対策の助言、提案
技術部	◆再資源材料の利用、推進(グリーン購入適合品) ◆投入資材の把握、管理 ◆営業・サービス車両・工事車両のエコドライブの推進・チェック
メンテナンス課	◆フロンガス回収の徹底及び管理、関係機関の書類作成、報告 ◆排気資材の削減及び分別処理、管理

- ▶各部門の ◎印は責任者を示す。
- ▶各部門の担当者は、自らが組織の中でどのような役割を担っているかを確認し責任者の指示の基に行動をする。
- ▶各部において環境目標に向けた取組みを実施する。

◆◆ 環境方針 ◆◆

《基本理念》

中央冷熱株式会社は、空調冷凍設備工事及びメンテナンスにおいて、環境問題への取組を自覚し、社員一丸となって環境への負荷低減を考え、より良い地球環境づくりに努めます。

《行動指針》

1. 事業所及び現場で使用する電気、燃料、水の使用量削減に努め二酸化炭素総排出量の削減に取り組めます。
2. 廃棄物の削減活動とリサイクル活動の推進をします。
3. オゾン層の保護、地球温暖化に向けフロンガスの回収を徹底すると共に業界のフロン排出抑制対策活動に積極的に取り組めます。
4. 環境保全に関する知識と認識の向上を図り、省エネ商品の提案に重点を置き導入を勧めます。
5. 環境関連法規則を遵守します。
6. 環境活動レポートを作成し、自社ホームページでも公表します。
7. 社員及び協力会社が環境方針を理解、周知徹底すると共に環境問題への意識向上を図ります。

制定日 2009年 8月 1日

改定日 2011年 4月 1日

中央冷熱株式会社

代表取締役社長 橋本 義弘 ㊞

《 4 . 環境目標》

1. 環境目標(短期1年間)

二酸化炭素・廃棄物の排出量及び総排水量は2015年度から2017年度の3年間実績の平均を基準として1%の削減を目標に環境活動に取り組む。

項 目		単位	2015年度 (2015.4~2016.3) 実績	2016年度 (2016.4~2017.3) 実績	2017年度 (2017.4~2018.3) 実績	基準 過去3年間実績 平均	2018年度 (2018年4月~2019年3月) 1%削減	
二酸化炭素排出量の削減 (省エネルギー)	購入電力	kWh	34,408	30,705	29,872	31,595	31,279	
	化石 燃料	① ガソリン	ℓ	12,113.72	12,703.36	12,615.77	12,477.62	12,352.84
		② 軽 油	ℓ	418.42	545.14	201.91	388.49	384.61
		①+② 化石燃料計	ℓ	12,532.14	13,248.50	12,817.68	12,866.11	12,737.45
CO2排出量(事務所・倉庫・現場)		kg-CO2	54,829.3195	56,503.1805	53,491.1451	54,941.2150	54,391.8029	
廃棄物排出量の削減 (リサイクルの推進)	一般廃棄物	t	1.6001	1.7182	1.6944	1.6709	1.6542	
	産業廃棄物	t	5.840	7.459	8.079	7.126	7.055	
総排水量の削減(節水)		m3	194.0	181.0	158.0	177.7	175.9	

項 目	単位	2015年度 (2015.4~2016.3) 実績	2016年度 (2016.4~2017.3) 実績	2017年度 (2017.4~2018.3) 実績	基準 過去3年間実績 平均	2018年度 目標数値 (2018.4~2019.3)
フロンガスの漏洩点検(保守点検)	件	23	23	18	21	22
高効率空調機器の推進 (高効率空調機器/全空調機器の台数 比率)	%	39.3	40.0	23.8	34.4	35.0
グリーン購入品の推進(事務用品) (グリーン購入金額/全購入金額 比率)	%	27.0	30.0	39.5	32.2	33.0

2. 環境目標(中期 3年間)

二酸化炭素・廃棄物の排出量及び総排水量は2015年度から2017年度の3年間実績の平均を基準として4%の削減を目標に環境活動に取り組む。

項 目		単位	基準 過去3年間実績 平均	2019年度 (2019.4~2020.3) 2%削減	2020年度 (2020.4~2021.3) 3%削減	2021年度 (2021.4~2022.3) 4%削減	
二酸化炭素排出量の削減 (省エネルギー)	購入電力	kWh	31,595	30,963	30,647	30,331	
	化石 燃料	① ガソリン	ℓ	12,477.62	12,228.06	12,103.29	11,978.51
		② 軽 油	ℓ	388.49	380.72	376.84	372.95
		①+② 化石燃料計	ℓ	12,866.11	12,608.78	12,480.12	12,351.46
CO2排出量(事務所・倉庫・現場)		kg-CO2	54,941.2150	53,842.3907	53,292.9786	52,743.5664	
廃棄物排出量の削減 (リサイクルの推進)	一般廃棄物	t	1.6709	1.6375	1.6208	1.6041	
	産業廃棄物	t	7.126	6.983	6.912	6.841	
総排水量の削減(節水)		m3	177.7	174.1	172.3	170.6	

項 目	単位	基準 過去3年間実績 平均	2019年度 (2019.4~2020.3)	2020年度 (2020.4~2021.3)	2021年度 (2021.4~2022.3)
フロンガスの漏洩点検(保守点検)	件	21	22	22	22
高効率空調機器の推進 (高効率空調機器/全空調機器の台数 比率)	%	34.4	35.0	35.0	35.0
グリーン購入品の推進(事務用品) (グリーン購入金額/全購入金額 比率)	%	32.2	33.0	33.0	33.0

《5. 環境活動計画》 (2018年4月～2019年3月)

環境目標 (2018年度)	施策内容	責任者	実施スケジュール												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
電力消費量の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	クールビズ・ウォームビズの推進	山本	説明				実施			説明			実施		
	エアコンの設定温度の設定 (冷房:28℃ 暖房:20℃ ±1℃とする)	大石	説明				実施			説明			実施		
	・設定温度の表示		表示							表示					
	節電の表示		表示								表示				
	節電の徹底		説明												
	昼休み・不在時の消灯		説明							実施				見直し	
	OA機器・PC未使用時の電源OFF		表示							実施					見直し
エアコンのフィルター清掃 ・点検実施	高橋 新田	説明			実施									見直し	
化石燃料の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	エコドライブの推進 ・アイドリングストップ運動の徹底	安東	説明							実施				見直し	
	・急発進・急加速の禁止		説明							実施				見直し	
	・車両点検の徹底(毎月1回)	新田	説明							実施				見直し	
一般廃棄物の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	紙使用量の削減 ・コピー用紙の裏面利用 ・使用済みの封筒を再利用	大石	説明							実施				見直し	
			説明							実施				見直し	
	リサイクルの推進 ・ダンボール、古紙の分類	安東	説明							実施				見直し	
	分別廃棄の徹底 ・リサイクル用紙ボックスの設置と表示 ・分別廃棄の実施(紙・缶・ビン・ペットボトル)	大石	説明							実施				見直し	
産業廃棄物の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	分別によるリサイクルの推進 ・分別廃棄場所の整備及び表示 ・分別廃棄の実施	安東	表示												
	説明								実施					見直し	
産業廃棄物の管理の徹底・適正処理	戸塚	説明								実施				見直し	
総排水量の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	節水の表示	大石	表示												
	節水の徹底		説明							実施				見直し	
	洗い物は時間を決めてまとめて洗う		説明							実施				見直し	
フロンガスの漏洩点検 (保守点検)	フロンガスの漏洩点検(保守点検) 年2回	安東 榎守 新田 藤森													
	古い機器の更新を推進しフロンガスを確実に回収する										実施				
	回収機のメンテナンス											実施			
	フロン類回収行程管理票による処理											実施			
高効率空調機器の推進	環境にやさしい省エネ機器の提案営業 ・省エネ機器販売の促進 ・ユーザーへの環境に対する説明	増田 山本	説明								実施			見直し	
	高効率空調機、換気設備の設計提案	増田 山本	説明								実施			見直し	
グリーン購入品の推進	資材・備品等の新規購入時にグリーン購入を検討	増田	説明								実施			見直し	
	エコマーク商品を積極的に購入	大石	説明								実施			見直し	

《6. 活動状況》



エアコン設定表示
(冷房:28℃ 暖房:20℃)



消灯・節電表示



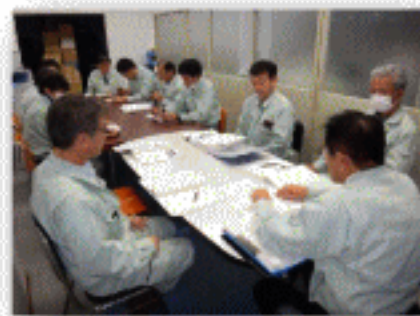
節水表示



コピー用紙裏紙再利用



一般教育①
(管理職)



一般教育②
(従業員)



緊急時の訓練



産業廃棄物の分別(廃材)



産業廃棄物の分別(金属類)



静岡県設備協会主催美化活動



静岡県設備協会主催美化活動



静岡県設備協会主催美化活動

《7. 施工写真》



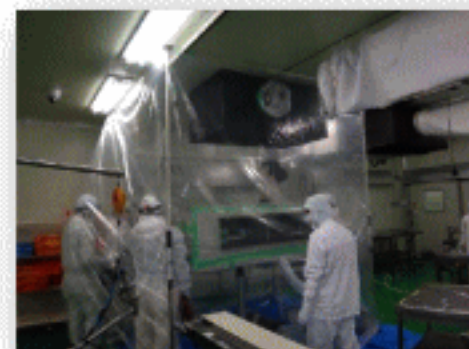
空調機搬入作業



ダクト工事



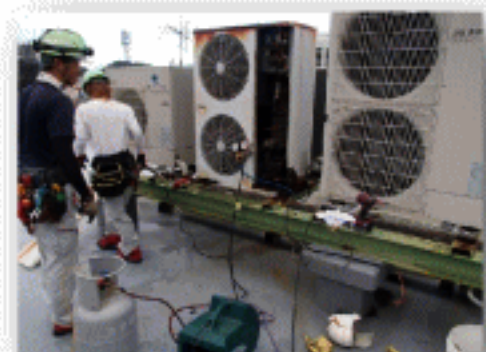
空調室内機取付



食品工場内空調室内機取付



冷媒配管工事



フロンガス回収作業



フード工事



高所作業工事

《 8 . 環境目標の実績》

過去3年間実績の平均を基準として1%の削減を目標に対する実績は次の通りであった。
また、過去の3年間実績は次の通りであった。

1. 二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー)

結果 ○:達成 ×:未達成

項目	単位	基準 過去3年間実績 平均	目標数値 過去3年間実績の 平均 1%削減	活動実績 (2018.4~2019.3)	削減率	結果	
購入電力 ※1	kWh	31,595	31,279	26,923	-13.9%	○	
化石燃料	① ガソリン	ℓ	12,477.62	12,352.84	12,191.23	-1.3%	○
	② 軽油	ℓ	388.49	384.61	172.73	-55.1%	○
	①+② 化石燃料計	ℓ	12,866.11	12,737.45	12,363.96	-2.9%	○
CO2排出量(事務所・倉庫・現場)	kg-CO2	54,941.2150	54,391.8029	49,866.5413	-8.3%	○	

※1 二酸化炭素排出係数:平成29年度 中部電力株式会社 0.478(kg-CO2/kWh)



【結果と評価】

- 今年度より目標数値を過去3か年の平均とした。
二酸化炭素排出量の結果は目標数値より削減することが出来た。次年度も電力消費量の節約、エコドライブの徹底を継続し削減に努める。

2. 廃棄物排出量の削減(リサイクルの推進)

結果 ○:達成 ×:未達成

項目	単位	基準 過去3年間実績 平均	目標数値 過去3年間実績の 平均 1%削減	活動実績 (2018.4~2019.3)	削減率	結果
一般廃棄物	t	1.6709	1.6542	1.6204	-2.0%	○
産業廃棄物	t	7.126	7.055	5.180	-26.6%	○



【結果と評価】

- 今年度より目標数値を過去3か年の平均とした。
一般廃棄物については目標数値と実績がほぼ同じだった。次年度は目標数値より削減できるよう努力をする。
産業廃棄物については継続して削減できるように努力をする。

3. 総排水量の削減(節水)

結果 ○:達成 ×:未達成

項目	単位	基準 過去3年間実績 平均	目標数値 過去3年間実績の 平均 1%削減	活動実績 (2018.4~2019.3)	削減率	結果
総排水量の削減(節水)	m3	177.7	175.9	176.0	0%	○



【結果と評価】

1. 今年度より目標数値を過去3か年の平均とした。事務所は本社ビルの1フロアにあり、水道使用量は本社ビル内の従業員数の按分により算出していますが次年度も一人ひとり節水に意識して削減に努める。

4. フロンガス漏洩点検、高効率空調機の推進、グリーン購入品の推進

結果 ○:達成 ×:未達成

項目	単位	基準 過去3年間実績 平均	2018年度 目標数値 (2018.4~2019.3)	活動実績 (2018.4~2019.3)	結果
フロンガスの漏洩点検(保守点検業務)	件	21	22	15	×
高効率空調機器の推進 (高効率空調機器/ 全空調機器の台数 比率)	%	34.4	35.0	26.2	×
グリーン購入品の推進(事務用品) (グリーン購入金額/全購入金額 比率)	%	32.2	33.0	39.2	○

【結果と評価】

1. 次年度も取組内容を継続するとともに、フロンの漏洩点検が義務化されたため社員にも最低限の知識を教育し顧客先には引続き点検方法等をアドバイスし受注に反映するように努める。
2. 高効率の空調機器の推進はメーカー担当者とのコミュニケーションを密にし、自己の知識を深めユーザーに分かりやすく高効率空調機の提案をする。
3. フロンガスの回収、省エネ機器の提案は行動指針にも掲げているため、今後内容を更に把握するため環境目標の見直し及び環境活動の検討を行う。
4. グリーン購入品の推進は引き続き積極的に購入していく。

《9. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組》

環境目標 (2018年度)	施策内容	取組結果 ○/×	評価	次年度の取組
電力消費量の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	クールビズ・ウォームビズの推進	○	昼休み時間や不在時には不要な照明を消したり、エアコンの温度設定等管理が徹底してできたため目標数値より削減が出来た。 エアコンのフィルター掃除等が担当者が多忙で出来なかったため出来ないときには他の人に頼むなど次年度は実施をする。	継続
	エアコンの設定温度の設定 (冷房:28℃ 暖房:20℃ ±1℃とする)	○		継続
	・設定温度の表示	○		継続
	節電の表示	○		継続
	節電の徹底	○		継続
	昼休み・不在時の消灯	○		継続
	OA機器・PC未使用時の電源OFF	○		継続
	エアコンのフィルター清掃 ・点検実施	×		啓発ポスターを掲げる
化石燃料の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	エコドライブの推進 ・アイドリングストップ運動の徹底 ・急発進・急加速の禁止 ・車両点検の徹底(毎月1回)	○	エコドライブの徹底や車両点検の徹底を継続した効果により目標を達成することが出来た。	継続
		○		継続
		○		継続
一般廃棄物の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	紙使用量の削減 ・コピー用紙の裏面利用 ・使用済みの封筒を再利用	○	コピー用紙の裏を使うなどの再利用によりかなりの無駄を省くことが出来た。	コピー用紙の裏面を使うよう啓発ポスターの掲示
	リサイクルの推進 ・ダンボール、古紙の分類	○	ダンボール、古紙の分類が徹底して出来た。	継続
	分別廃棄の徹底 ・リサイクル用紙ボックスの設置と表示 ・分別廃棄の実施(紙・缶・ビン・ペットボトル)	○	一般廃棄物分別によりマニフェストの管理が出来、徹底することが出来た。	継続
産業廃棄物の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	分別によるリサイクルの推進 ・分別廃棄場所の整備及び表示 ・分別廃棄の実施	○	産業廃棄物は分別やマニフェストの管理が出来て、全員が取組を徹底した。	継続
	産業廃棄物の管理の徹底・適正処理	○		継続
総排水量の削減 過去3年間実績の平均 1%削減	節水の表示	○	事務所は本社ビルの1フロアにあり、水道使用量は本社ビルにいる従業員の数按分により算出しています。一人人数が増えたが節水を意識して削減に努める。	継続
	節水の徹底	○		継続
	洗い物は時間を決めてまとめて洗う	○		継続
フロンガスの漏洩点検 (保守点検)	フロンガスの漏洩点検(保守点検) 年2回	○	フロン排出抑制法によりフロンの漏洩点検が義務化され、また、フロンガスの回収破壊の徹底は法律で定められていることであり、今後も法令遵守を徹底していく。今年度も引き続き保守契約の顧客を増やすように努める。	継続
	古い機器の更新を推進しフロンガスを確実に回収する	○		継続
	回収機のメンテナンス	○		継続
	フロン類回収行程管理票による処理	○		継続
高効率空調機器の推進	環境にやさしい省エネ機器の提案営業 ・省エネ機器販売の促進 ・ユーザーへの環境に対する説明	○	昨年度同様に空調機の更新提案営業でも積極的に省エネ機器を進めることが出来た。ユーザーにわかりやすく省エネ機器に対する説明が出来るようにし、顧客に提案していく。今年度も引き続き高効率空調機を推奨提案していく。	継続
	高効率空調機、換気設備の設計提案	○		継続
グリーン購入品の推進	資材・備品等の新規購入時にグリーン購入を検討	○	積極した取り組みによりグリーン品を購入し、エコマーク商品も積極的に購入している。	継続
	エコマーク商品を積極的に購入	○		継続

《10. 環境関連法規等の取りまとめ表》

(1) 環境関連法規等の遵守状況

法規	適用範囲	条項番号	内容又は規制基準	責任者 (担当部門)	遵守状況
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) ・静岡県・静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物排出時	法第12条	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	増田	○
			産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付(5年間保管)	推進室	○
			産業廃棄物置場の管理及び表示	菅原	○
		規則第8条の27	産業廃棄物管理票等状況報告 (6月30日までに静岡市長に報告)	推進室	○
・特定家庭用品機器再商品化法 (家電リサイクル法)	特定家庭用機器の排出時	法第18条	家電リサイクル券の発券と管理票の管理(3年間保存)	推進室	○
・フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法) (第一種フロン類充填回収業者)	フロン類の充填・回収行為の適正化	法第9条	県への報告義務(年度終了後45日以内)	榎守	○
		法第19条	登録の更新		○
		法第20条	行程管理票による管理(受理と写しの保存:3年間)	推進室	○
			冷凍空調機器の適正な管理とフロン類の排出抑制 ・全ての業務用冷凍空調機器は3ヶ月に1回以上簡易点検を行う ・7.5KW以上50KW未満の空調機器は3年に1回以上定期点検を行う ・50KW以上の空調機器は1年に1回以上定期点検を行う ・7.5KW以上の冷凍・冷蔵機器は1年に1回以上定期点検を行う ・フロンの漏えいを発見した時は、漏えい箇所の特定修理をし完了するまでは、充填することは原則禁止 ・機器を廃棄するまで記録を保存	安東	○
高圧ガス保安法	高圧ガスの製造、貯蔵、移動等	法第1条	高圧ガスの取扱いの届出及び管理	戸塚	○
			登録の更新		○
静岡県生活環境の保全等に関する条例 (騒音規制法の上乗せ基準)	指定地域内(第1種～第4種区域) ※特定施設の届出 施主に対する届出の指導	静岡県公害防止条例 53条	特定施設の設置の届出 工事着工 30日前 ・空気圧縮機及び送風機 (電動機の定格出力:3.75Kw以上) ・クーリングタワー (電動機の定格出力:0.75kw以上) ・冷凍機(圧縮機を用いるのに限る) (電動機の定格出力:3.75Kw以上)	各担当者	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例 (振動規制法の上乗せ基準)	指定地域内 (第1種1,2～第2種1,2区域) ※特定施設の届出 施主に対する届出の指導	静岡県公害防止条例 80条	特定施設の設置の届出 工事着工 30日前 ・圧縮機 (電動機の定格出力:7.5kw以上)	各担当者	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法)	環境物品等の調達の推進等	法第5条	空調機器及び文房具等	大石 戸塚	○

(2) 違反、訴訟等の有無

- ・当該環境関連法規への違反はありませんでした。
- ・関係機関からの指摘や利害関係者からの訴訟は、過去3年間ありませんでした。

《代表者による全体評価・見直し》

作成日 2019年7月19日

代表者氏名 : 橋本 義弘

Ⓜ

		見直し指示内容		取組結果		
前期見直し指示への取組結果	①	全員参加の推進		マンネリ化して来て、意見・提案も出ない。		
	②					
	③					
	④					
今期見直しのための取組確認結果	項 目		確認	(必要に応じて評価・コメント記載)		
	1	エコアクション21文書	レ			
	2	環境目標及び目標達成状況	レ			
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	レ			
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	レ			
	5	外部コミュニケーション・対応記録	レ			
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	レ			
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	レ			
8	その他:	□				
今期全体評価・コメント・見直し指示	全コ 体メ ン ト	環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等		空調設備業者として環境問題への取組を中心にした社会的責任を全員で見直し、経営メリットに繋がるエコアクション活動にして行きたい。		
	代 表 者 に よ る 見 直 し 指 示	見直し項目		見直しの必要性	「有」の場合の指示事項等	
		1	環境方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
		2	環境目標・計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
		3	環境活動計画・取組項目	<input checked="" type="radio"/> 有・無	環境会議で社会的責任～経営メリットについて議論する。	
		4	環境に関する組織	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
		5	その他のシステム要素	<input checked="" type="radio"/> 有・無	ガイドライン2017年版へ取り組む。	
6	その他(外部への対応等)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無				